

# 平成22年度(2010年度)施政方針

## 町田の未来づくりのスタート

町田市長 石阪丈一

平成22年(2010年)第2回市議会定例会が開会され、石阪市長は6月1日の本会議で施政方針を表明しました。ここでは、その概要を掲載します。また、町田市ホームページでは全文をご覧いただけます。

企画政策課 ☎724・2103

### はじめに

私は、3月に開催された第1回市議会定例会において、市長としての2期目は、「町田の未来をつくる」をテーマに市政運営を進めていくことを表明いたしました。この度は、そのスタートとなる今年度の主要な施策についてご説明申し上げ、市民の皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 2010年度の市政運営の視点

まず、市政を取り巻く状況について、私の認識を申し述べさせていただきます。

我が国の景気は、持ち直してきていると言われていますが、依然として厳しい状況にあり、市内の経済や市民の暮らしに大きな影響を与えています。

また、昨年は新型インフルエンザが世界的に流行し、今年に入っからは世界各地で大きな地震が発生しており、健康危機や自然災害に対する市民の関心が高まっています。

いかなければなりません。また、地方分権改革の必要性が叫ばれて久しくなりますが、国から地方への権限や財源の移譲は未だ十分になされておられません。

このような状況の中、市の歳入では市税収入が大幅な減収となる一方で、歳出では義務的経費が増加する傾向にあり、今後も当分の間は厳しい財政見通しとなっています。

こうした状況を踏まえ、2010年度は、  
①変化化する社会情勢への迅速な対応  
②将来の町田への投資  
③選択と集中による「今すべきこと」の重点的な実施

以上3つの視点で市政を運営してまいりたいと考えております。

### 2010年度の主要な施策

それでは、ここで、2010年度の主要な施策について、第1回市議会定例会で示した4つの政策の方向性に沿ってご説明いたします。

### 1 暮らしの安心・安全をつくる

市民生活に関するアンケート調査などから、子育て世代では「子育て・教育に対する不安」、中高年世代では「将

来に対する不安」など、世代ごとに生活の不安を抱えていることがうかがえます。

また、世界的な流行が懸念される鳥インフルエンザや、首都直下型の大地震などに対する備えが必要となっています。

このため、子育て・子育て支援に取り組みとともに、誰もが安心して、安全に暮らしを営むまちづくりを進めてまいります。

### 子育て・子育て支援

- 市内保育所の定員増
- 地域における子育て支援
- 学童保育クラブの保育環境の充実
- 市立小・中学校の教育環境の整備

### 安心して、安全に暮らせるまちづくり

- 保健所政令市への移行に向けた人材育成や組織体制の

### 整備

- 市民病院の医療従事者の確保
- 高齢者施設の充実
- 地域ぐるみの防犯活動の促進
- 地域防災力の向上

### 2 夢のあるまちづくり

文化・芸術やスポーツは、私たちの生活にゆとりと潤いを与え、明るく豊かな社会の形成にも重要な役割を果たしています。

### 文化・芸術によるまちづくり

- 市民病院長の医療従事者の確保
- 文化・芸術の拠点となる施設の充実
- 若手アーティストの発表機会の提供
- 身近なところでスポーツができる環境づくり
- トップレベルのスポーツに触れる機会の充実

町田市からは、全国や世界で活躍するアーティストやアスリートを数多く輩出しており、その姿は、私たちに夢や感動を与えてくれています。

このような意義や地域特性を十分に認識し、活力あるまちをつくるため、文化・芸術やスポーツによる夢のあるまちづくりを進めてまいります。



### 文化・芸術によるまちづくり

- 文化・芸術の拠点となる施設の充実
- 若手アーティストの発表機会の提供

### スポーツによるまちづくり

- 身近なところでスポーツができる環境づくり
- トップレベルのスポーツに触れる機会の充実



### 3 環境先進都市をつくる

町田市では、環境に対する市民の意識が非常に高く、市民と行政が協働して環境を守る活動に取り組んできた歴史があります。

また、町田市北部の丘陵地域をはじめ、市内には多くのみどりが残されており、東京圏の貴重な資源にもなっています。

このような歴史や資源を活かした環境先進都市となるため、地球温暖化対策に取り組むとともに、みどりの豊かなまちづくりを進めてまいります。

### 地球温暖化対策

- 地球に優しいエネルギーの

### 利用促進

- ごみ減量に向けた取り組み
- 一般廃棄物資源化基本計画の策定

### みどり豊かなまちづくり

- 公園緑地の整備
- 都市農地の保全



### 4 地域経済の活性化と行政経営改革

まず、町田を元気にする地域経済の活性化について申し上げます。

市内の事業者は非常に厳しい経営状況にあり、景況感や実際の売上高は依然として低めで推移しています。

多くの人を市内に呼び込み、地域経済の活性化につなげていかなければなりません。



### 地域経済の活性化

- 市内事業者の事業機会の拡大

○観光振興  
○公共交通の利便性向上  
○幹線道路網の整備  
次に、中長期を見据えた行政経営改革について申し上げます。

私は、就任して以来、市民の目線で、市民の常識に即した行政経営改革を進めてまいりました。今後も市民から信頼される市政を目指して、さらなる改革を進めてまいります。

### 行政経営改革

- よりわかりやすい情報提供
- 市民の多様な意見の把握
- 市有建築物の計画的な維持保全
- 公共施設跡地等の有効活用

### むすびに

我が国を取り巻く社会情勢は刻一刻と変化しており、将来を予測することが困難な時代になってきました。こうした時代だからこそ、市民の暮らしに一番近い基礎自治体、地道な取り組みを積み重ね、その蓄積で新しい日本を創っていくことが必要です。

私は、町田市をそのモデルとする都市にしたいと考えています。

そのために、42万すべての市民が希望の持てるまちを目指して、先程申し上げたさまざまな施策の推進に全力を挙げるとともに、今後の町田市の発展の道筋を示す中長期計画の策定に取り組みます。

市民の皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。